

1 学校教育目標

確かな学力をもち、心豊かで、逞しく生き抜く生徒の育成を図る

2 学校教育方針

人間尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する。そのために、教師は使命感に徹し、見識を高め、指導力を身につける。

3 重点目標

- ① 創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成
- ② あいさつなどの基本的な生活習慣及び、集団規律・学習規律の確立
- ③ 組織的な生徒指導体制の確立による積極的な生徒指導の推進
- ④ 学習指導の改善による「ともに学び合う場」の実現
- ⑤ 一人一人の内面に根ざす道徳性を養うための道徳教育の確立
- ⑥ 職業観、勤労観を育てる特別活動・キャリア教育の推進
- ⑦ 一人一人の内面に根ざす道徳性を養うための道徳教育の確立
- ⑧ 人権意識の高揚と確かな人権感覚を身につけるための人権教育の推進
- ⑨ 心身ともに健康で安全な活力ある生活のための健康教育の推進
- ⑩ 社会の変化に対応した環境教育、情報・視聴覚教育、福祉教育の推進
- ⑪ 地域・保護者から信頼される開かれた学校づくりのための学校評価システムの確立と積極的な情報発信

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果						分析及び改善策
			前年度末			今年度末			
			児童生徒	保護者	教職員	児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	学校は「確かな学力をもち、心豊かで、たくましく生きぬく生徒の育成を図る」という教育目標を達成している。	3.2	2.8	3.1	3.1	2.7	3.1	・前年度末と同様、小さな指導案件はあるものの大きな問題行動もなく、概ね落ち着いた校内生活を送っている。
	学校の雰囲気	活気があり、落ち着いて学ぶことのできる雰囲気である。	2.9	2.9	3.3	2.8	2.8	3.3	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で適切に機能している。			3.1			3.1	
心の教育	生徒指導	ルールやマナーを身につけている。	3.0	2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	・学校経営方針「いのちを大切に いのちを活かそう」、生徒指導重点項目『美しく「並べる」「揃える」「整える」』等が徐々に生徒へ浸透している。 ・各学年による生徒の主体的な人権平和学習への取組で意識が高まっている。
		あいさつを良くしている。	3.4	2.8	3.1	3.5	2.9	3.1	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している。	3.4	2.9	3.3	3.3	2.9	3.3	
	人権・平和教育	生命や人権・平和を大切にすることが育っている。	3.4	3.0	3.1	3.4	2.9	3.1	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている。	3.5	2.8	3.0	3.5	2.7	3.0	
	道徳教育	体験を通じ、生徒の内面に根ざした道徳教育を行っている。	3.6	3.0	3.1	3.6	2.9	3.1	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風・地域の実態に応じた教育を行っている。	3.5	2.8	3.1	3.5	2.7	3.1	・授業力の向上はもちろん、授業でのタブレット活用やリモート授業等、学力向上を図るための学習指導の工夫改善に努めている。 ・家庭学習の充実に向けて、学年や教科で取組を行っているが、新たな工夫も一考の余地がある。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている。	3.2	2.9	3.2	3.3	2.7	3.2	
		家庭学習の習慣が身に付いている。	3.4	2.8	2.7	3.3	2.7	2.7	
	進路指導	将来の進路や職業について適切に指導している。	3.3	2.9	3.2	3.2	2.7	3.2	
	指導の工夫と改善	学習指導の工夫改善を各教科で行っている。			3.2			3.2	
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康管理に関する教育を行っている。	3.3	3.0	3.5	3.1	2.9	3.5	・学校給食や生徒会活動とも連携し食育を推進しているが、残食がやや多いのが課題である。 ・体調や心身のバランスを崩し、欠席する生徒が多い。 ・コロナ禍の影響もあり、運動する機会が減り、体力の低下が感じられる。
	心の健康	生徒の心の健康に気を配っている。	3.4	3.1	3.4	3.3	3.1	3.4	
	食 育	食に関する教育活動をすすめている。	3.3	2.9	2.5	3.2	2.8	2.5	
	体力向上	生徒の体力が向上している。	3.5	3.0	2.5	3.4	2.9	2.5	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている。	3.4	3.0	3.4	3.3	3.0	3.4	・学級通信や保健だより、進路通信、安心メール等での密な情報提供を行っている。今後は学校HPの充実にも努めたい。 ・外部講師を招聘するなど、校内研修については計画的に実施した。今後、さらにICTを活用した授業実践が期待される。
	情報提供	学校の状況は通信等で知ることができる。	3.3	2.9	3.1	3.1	2.9	3.1	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている。	3.2	2.7	2.9	3.1	2.7	2.9	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している。			3.3			3.3	
	服 務	教職員のサービスを認識し、事故防止に努めている。			3.6			3.6	
教 育 環 境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている。	3.1	2.9	3.1	3.2	2.9	3.1	・環境整備については事務とも相談して、今後、補修を進めていく。
	言語環境	正しい言葉を使うよう指導している。	3.5	2.9	3.3	3.6	2.9	3.3	

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

<成果>学校経営目標に対する評価をはじめとして、すべての項目について昨年度と同水準を維持できた。
<課題>①相手を思いやる心や落ち着いた校内生活を継続させるためにも德育教育の更なる推進と充実が必要である。②学力向上を目指した取組や工夫が今後も継続して必要である。③コロナ禍でPTA活動や地域との連携が難しい部分があった。
<対策>①学力向上のために、校内研修の推進や家庭学習習慣化を目指し指導の充実を図る。②生徒の心と体の健康づくりに努める。③感染症の終息とともに、PTA活動の充実を図るとともに学校HP等で保護者・地域への情報発信に努める。

6 学校関係者評価

・「あいさつを良くしている」について、地域でも小学生より中学生の方がよく挨拶をしてくれる。お互いが気持ちよく接するために必要なことだと思う。
・相談室登校の生徒も、挨拶や話し方等きちんとしており、教室には入れなかったが社会に出たら十分やっていける力があると感じた。
・昨年度よりも校舎内の環境整備がきちんと行われており、驚きとともに気持ちよく感じた。先生方が指導されている生徒指導重点項目の浸透だと思う。
・いのちの大切さ等、教師が自身の経験を語ることで生徒の心に響く教育ができているのではないかと感じた。そういう部分を大切にしたい。
・3学期制になったことで、地域で子どもに声をかける側としては、なじみもありわかりやすい。先生方の負担は増えるかもしれないが、検証しながら新しい3学期制をつくっていただきたい。
・「家庭学習の習慣」については、指導を継続していただきたい。ただ、人として思いやりのあるまともな行動ができることが大切なので、豊かな心の育成も継続してほしい。